

評価会議（平成29年度期末）における委員の評価及び意見

1 取組実績の評価（1）：事業の実施状況

評価点 (配点25点)	A委員	B委員	C委員
	15	20	18

2 取組実績の評価（2）：事業の実施体制等

評価点 (配点15点)	A委員	B委員	C委員
	10	13	10

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価点 (配点20点)	A委員	B委員	C委員
	15	18	15

4 取組効果の評価：目標等の達成状況

評価点 (配点40点)	A委員	B委員	C委員
	30	29	30

5 総合評価

(1) 総合評価Ⅰ

項目	A委員	B委員	C委員
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	B	A	B
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向かた戦略・シナリオの策定	B	B	B
(3) 区のマネジメントに合った取組	B	A	B

(2) 総合評価Ⅱ

項目	A委員	B委員	C委員
総合評価（全体）	B	A	B

主な意見等

- 行政と協働で真摯に事業に取り組んでいる様子がうかがえる。一方で、実験的な時期とも言え、今後、どういう方向づけをするかが重要になっていくため、常に「住民自治の機運を高める方策が何か」に配慮して事業遂行されたい。
- センターと区役所の新たな関係構築をすべく、センターの役割の明確化を図られたい。

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
 A：本市の求める水準以上の効果が得られた
 B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
 C：本市の求める水準の効果が得られていない